

Opensignal、日本のモバイル・ネットワーク・エクスペリエンスを発表

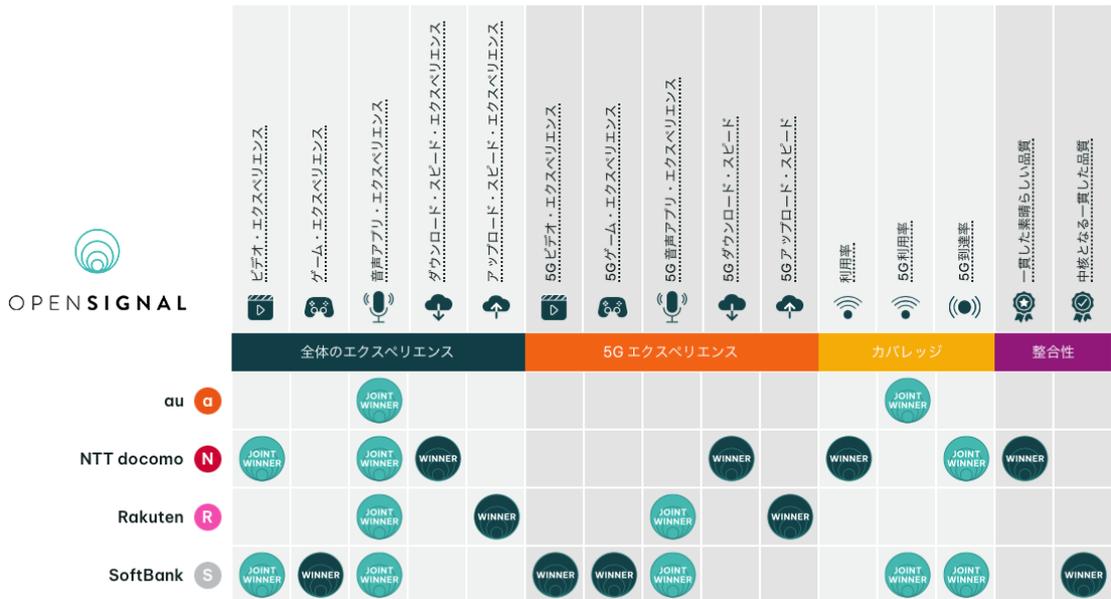
グローバル 5G エクスペリエンス比較では、日本が再び高い評価に

レポート: <https://www.opensignal.com/jp/reports/2022/10/japan/mobile-network-experience>

Opensignal（本社：英国）は、日本のオペレーターを分析し、比較した、モバイル・ネットワーク・エクスペリエンス（2022年10月）を発表しました。

モバイル・ネットワーク・ユーザー・エクスペリエンス・アワード

2022年10月、日本レポート



モバイル・ネットワーク・ユーザー体験レポート | 2022年10月 | © Opensignal Limited

○ 主な分析結果

日本最速のダウンロード・スピード・エクスペリエンスは NTT ドコモ

NTTドコモが 5G ダウンロード・スピード・アワードと総合ダウンロード・スピード・エクスペリエンス・アワードの両方を受賞しました。5G ダウンロード・スピード・スコアは 211.6Mbps で、Opensignal ユーザーの平均スピードが 200Mbps を超えたのは NTT ドコモのみでした。

楽天が 5G アップロード・スピード・アワードと総合アップロード・スピード・エクスペリエンス・アワードを維持

前回の日本レポートでは、楽天がアップロード・スピード・エクスペリエンス・アワードの両方を受賞しました。

総合エクスペリエンスでは、楽天のスコア 16.9Mbps は、競合他社に接続しているユーザーのアップロード・スピードの 2 倍近いものでした。5G アップロード・スピードでは、楽天が 27.9Mbps で 2 位の SoftBank の 20.2Mbps を上回り、相対的僅差での勝利となりました。

SoftBank と NTT ドコモがコンシステント・クオリティ・アワードを共同受賞

ドコモがエクセレント・コンシステント・クオリティ(一貫した素晴らしい品質)アワードを受賞し、これまで共同受賞していた SoftBank を 0.4 ポイントリードして勝利しました。

最高のマルチプレイヤー・モバイル・ゲーム・エクスペリエンスを享受したのは SoftBank のユーザー

5G ゲーム・エクスペリエンス・アワードと総合ゲーム・エクスペリエンス・アワードの両方を受賞したことで、SoftBank のユーザーは日本一のゲーム・エクスペリエンスを体感しました。SoftBank のスコアは 84.9 と 79.9 で、いずれも「良い (75~85 点)」との評価でした。

ビデオ・エクスペリエンスでは NTT ドコモが SoftBank に並ぶ

SoftBank が完全勝利した前回のレポートから変化し、NTT ドコモが差を縮め、両社は 62.3~63.2 ポイントの範囲で統計的同点となりました。しかし、5G ビデオ・エクスペリエンス・アワードでは 78.6 で NTT ドコモの 75.6 を上回り、SoftBank が勝利を維持しました。

4 社すべてが受賞し、熾烈な競争を示唆

au は、前回のレポートで受賞を逃した音声アプリ・エクスペリエンスと 5G 利用率の共同受賞を 2 つ新たに獲得しました。しかし、NTT ドコモと SoftBank がそれぞれ単独受賞の 4 賞を獲得し、楽天の単独受賞 2 つを抑えて最多受賞を記録しています。NTT ドコモの 3 つの共同受賞、楽天の 2 つの共同受賞に対して、SoftBank は 5 つの賞を受賞しているため、合計では SoftBank が最多の受賞数です。

○ 地域別モバイル・ネットワーク・エクスペリエンス

Regional Analysis Summary: Japan, Mobile Network Experience Report, October 2022

Region	Video Experience			Games Experience			Voice App Experience			Download Speed Experience			Upload Speed Experience				
Chubu	N	S		S			a	N	S	N			R				
Chugoku	a	N	S	a	R	S	a	N	R	S	a	N	S	R	S		
Hokkaido	a	N	S	a	R	S	a	N	R	S	N			R			
Kanto	a	N	S	R		S	N	R	S	N			R				
Kinki	S			S			a	N	R	S	N			R			
Kyushu	a	N	S	a	N	R	S	a	N	R	S	N			R		
Shikoku	a	N	R	S	a	N	R	S	a	N	R	S	N			R	
Tohoku	a	N	S	a	N	R	S	a	N		N			R	S		

スピード・アワードは、ダウンロード・スピード・エクスペリエンスが NTT ドコモ、アップロード・スピード・エクスペリエンスが楽天とオペレーター1 社が独占しています。ただし、ビデオ・ストリーミング、マルチプレイヤー・ゲーム、音声アプリ・エクスペリエンス・アワードは、全オペレーターが受賞しています。

NTT ドコモは 8 地域のユーザー平均ダウンロード速度ダウンロード・スピードで完全勝利し、中国地方では au と SoftBank との共同受賞となりました。同様に、楽天は 6 地域でアップロード・スピード・エクスペリエンス・アワードを単独受賞し、中国地方と東北地方では SoftBank との共同受賞となりました。

ゲーム・エクスペリエンスでは、国内での受賞と並行して SoftBank は中部地方と近畿地方で単独受賞し、他の地域では地域アワードを共同受賞しました。この部門においては楽天も強く、6 地域で共同受賞しました。

日本全国でビデオ・エクスペリエンスにおける熾烈な競争が繰り広げられています。今回全国では NTT ドコモと SoftBank が共同受賞しましたが、地方では SoftBank のみが近畿地方で単独勝利を果たしました。

しかしそれ以外の地域では、NTT ドコモが SoftBank と地域アワードを共同受賞しています。

利用率における地域別受賞数が最も多かったのは NTT ドコモでした。

NTT ドコモはすべての地域で単独勝利、もしくは共同勝利となりました。関東では単独優勝です。

近畿・九州・東北地方では SoftBank との共同受賞でした。

SoftBank は北海道と関東を除く全地域で利用率を共同受賞しました。au は 4 地域で共同受賞していますが、新規参入オペレーターである楽天が共同受賞したのはわずか 2 地域 (北海道と四国) でした。

○ Opensignal 分析担当バイスプレジデント、イアン・フォッグ (Ian Fogg) によるコメント

Opensignal のグローバル 5G エクスペリエンス比較では、日本が再び高い評価となりました。Opensignal 5G グローバル・モバイル・ネットワーク・エクスペリエンス・アワード 2022 で日本のオペレーターは 5G ゲーム・エクスペリエンスの 5G グローバル・リーダー・アワードおよび 5G グローバル・ライジング・スター・アワード 10 社に入賞しました。

総務省は、日本の 5G エクスペリエンスの向上を目指しています。その目標は 2024 年 3 月末までに 5G の人口カバー率 98% を達成することです。さらに重要なのは、データ消費量の増加に伴い、日本は 5G サービスに利用できる周波数帯増を目標に掲げていることです。その最初の計画ステップとして、2022 年に 2.3GHz 帯の周波数を新たに割り当てて、2025 年に他の互換性のある帯域に 3 倍の割り当てを行う予定です。

5G に関する国際協力も活発です。日本の団体は 5G に関して EU および米国との連携を強化し、インドとも連携についての意見を交換しています。またスマートフォン向け衛星通信への関心が高まっています。これは来たるべき 5G の標準規格である Release 17 の一部であるため、情報通信研究機構 (NICT) と欧州宇宙機関 (ESA) は日本-欧州間の直接接続を提供しようと、衛星接続の別の使用法を検証してきたのです。

オペレーターは、5G のカバレッジ目標に向けて、5G の利用可能範囲を拡大し続けています。KDDI の au は 2024 年 3 月までに 5G 人口カバー率 95%達成を目標にしています。NTT ドコモも au と同じく 2024 年 3 月の人口カバー率 90%超を目標に対応を続けていますが、瞬速 5G ネットワークはすでに 50%を超えているとのこと。4 月に SoftBank はその 5G サービスが人口比 90%に達したと発表しました。新規参入オペレーターである楽天は自社で 4G インフラの整備を進め、au へのローミング依存度を下げつつ 5G サービスの構築も同時に進めています。楽天は 2023 年 12 月までに 4G 基地局数を 60,000 局以上の拡大を目標に掲げると同時に、2 月時点で 4,000 局だった 5G 基地局数を 2022 年 8 月には 12,000 局まで拡大しました。

日本におけるモバイル・ネットワーク・エクスペリエンスに関するこの最新レポートでは、オペレーターの立場に変化が見られました。NTT ドコモが台頭しました。前回のレポートでは受賞のなかった au が、共同受賞で 2 つの賞を獲得しました。しかしアップロード・スピード・アワードではいずれも楽天がキープし、受賞数最多は今回も SoftBank でした。全体としてこれらの結果はモバイル・エクスペリエンスを正確に測定するためにさまざまな方法を複数検討することが重要である日本市場の競争の激しさを示しています。

注：内容は、英語版の翻訳です。日本語との内容に不整合がある場合、英語版が優先されます。

関連資料:

[日本の交通拠点における 5G の体感:山手線と国際空港](#)

Opensignal について

Opensignal は、コンバージド、ワイヤレス、及び、ブロードバンド・オペレーター全体のネットワーク体感とマーケット・パフォーマンスを統合し、独立した知見とデータの世界的大手プロバイダーです。当社の公開レポートは、ネットワーク・エクスペリエンスをベンチマークするための世界標準として認められています。当社の顧客中心の総合的なソリューションは、通信プロバイダーがネットワークを改善し、商業パフォーマンスを最大化し、すべての接続を改善できるようにする前例のない知見を生み出します。同社は米国、カナダ、英国に本社を置き、南米とアジアに営業拠点を構えています。

Opensignal および Opensignal のロゴは、Opensignal, Ltd の商標または登録商標です。言及されているサードパーティーの商標は、それぞれの所有者の財産です。

本件に関する問い合わせ先
Opensignal 広報担当

Rebecca Adewale

rebeccaadewale@opensignal.com

Opensignal 広報代理

担当：清水

opensignal@jspin.co.jp